【経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性】

デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響
デジタル技術の進化は、オンラインスクール事業に大きな影響を与えています。
従来の学びのスタイルにとらわれることなく、自由な学びのテーマを選択できるSOZOWスクール事業は、デジタル技術の活用により、学生とスタッフを全国規模でつなぎ、ボーダレスな学び環境を提供しています。
また、SOZOW PARK事業では、オンラインコミュニティプラットフォームを活用して学びを深め、子供たちが自らの成果を発表する機会を得ることができます。これにより、子供たちの学び体験がより豊かなものとなり、教育の可能性が広がっています。

経営ビジョンやビジネスモデルの策定・公表
当社は「好奇心と可能性を解き放ち、未来をSOZOWする学びの生態系をつくる」ことを経営ビジョンとし、「学校に行くと同じくらい自分らしく学ぶという選択肢を当たり前に」することを目指しております。自由な学びテーマの選択、オンラインコミュニティプラットフォームによる学びの共有、スタッフによる個別サポートとテクノロジーのハイブリッド活用による学び環境の構築を通じて、子供たちの個性と才能を伸ばすことを目指しています。

【経営ビジョンやビジネスモデルを実現するための戦略】

デジタルテクノロジーの積極的活用と拡充
当社は、デジタル技術を駆使して学生とスタッフの間でよりスムーズなコミュニケーションを実現するために、オンライコミュニティンプラットフォームやコラボレーションツールを積極的に導入します。さらに、行動ログ等の分析により、個々の個性や強み、学びニーズに合わせた最適なカリキュラムの提供を行い学びの質の向上を図るとともに子どもたちの好奇心と可能性を解放することに取り組みます。

カスタマイズされた学び環境の提供
当社は、個々の子どもたちの好奇心や強み、学びスタイルや興味に合わせて、カスタマイズされた学び環境を提供することを重要な戦略としています。スタッフの個別サポートにより、生徒一人ひとりの個性や学びの方向性に応じて、生徒が自信を持って自ら学びに取り組める環境を整備します。

【戦略を推進するための体制・組織】
体制・組織
代表の小助川将（CEO）及び西晃生(CTO（最高技術責任者）)が、デジタル技術の活用と戦略の推進を担当します。データ分析やオンラインプラットフォームの開発を担当するシステム部門を強化し、子どもたちとスタッフのコミュニケーションを支援するチームを配置します。教育コンテンツのカスタマイズや学びの進捗管理を行うためのチームも設け、緊密な連携を図ることで、ビジョンと戦略の実現に取り組みます。